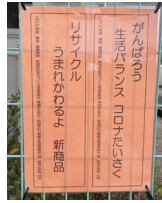


環境ポスターづくり

環境保全部会

今年は、誠之中学校の美術部の皆さんに描いていただいた環境ポスターと、新涯小学校3、4年生の皆さんの作品の中から厳選した環境啓発標語を、学区内のゴミステーション等に掲示しました。これからも、ひとりがルールを守って、美しい学区を創出しましょう。



犬のフン対策と環境保全啓発紙「環境保全レポート2022」の発行

環境保全部会

最近、新涯学区の公園や道路に犬のフンが放置されていることが多く、町内会等に苦情が入るようになりました。そこで、飼い主のマナー向上のために、様々な方法で啓発を行いました。

①新涯かわら版(新涯公民館だより)に啓発文を掲載しました。

②新涯第6公園において、フンが放置されているところに、牛乳パックでの啓発文や啓発ポスターを置き、見回りを行いました。

③飼い主のマナーを喚起した「環境保全レポート2022」を発行しました。

これからも学区内の環境美化のため、継続して啓発を行ってまいります。動物が嫌いな方や苦手な方も多いことを十分に理解し、ペットと仲良く暮らすために、飼い主の方は、必要なマナーを今一度考えましょう。



「環境保全レポート2022」

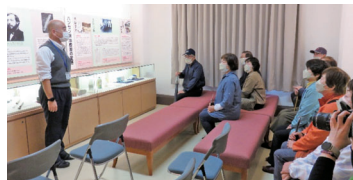


まちづくり研修事業・・・国立療養所「長島愛生園」を訪ねて

絆・活性化・文化部会

毎年、まちづくり研修事業として日帰りでの研修旅行を企画しており、今年度は、4月24日(日)に岡山県瀬戸内市の国立療養所「長島愛生園」を視察訪問しました。「長島愛生園」は、1930年にハンセン病患者の療養を目的に設置された施設です。参加者からはハンセン病について理解を深めるとともに、いわれない差別や偏見を実地で学ぶことができ、大変意義深い心に沁みる研修であったとの声が多数ありました。

この研修をつうじて、ハンセン病はもとより、日常にあるさまざまな誤解や偏見に気づき、多様性を認め合う、人権を尊重し合う差別のない地域づくりが必要であることを再認識したところです。



いろはかるた大会を開催

絆・活性化・文化部会

2018年に当部会で作成した「新涯いろはかるた」を使って、今年のとんど祭りにおいて、小学生を対象に「いろはかるた大会」を行いました。2020年1月に行って以来第2回目の開催でしたが、多くの子どもたちの参加を得て、にぎやかに開催することができました。かるたに込められた新涯地域の文化や歴史に少しでも触れることができたのではないかと考えており、これからも、とんど祭りとともに開催したいと考えております。



新涯まちづくり(新涯学区広報誌)
2023年[令和5年]3月

[発行・編集]
新涯学区まちづくり推進委員会
〒721-0955
広島県福山市新涯町3丁目17-41
新涯公民館内
TEL 084-953-5634
<https://shingai-machizukuri.com/>

新涯まちづくり

2023
令和5年

3月

2022年度新涯学区まちづくり推進事業

5部会の活動報告

ごあいさつ

***** 笑顔があふれるまち新涯 *****

2016年(平成28年)3月に策定した「新涯学区まちづくり計画」に基づき、まちづくり推進委員会の委員さんを始め学区内の多くの方々のご理解とご協力によりこれまで7年間に亘って事業を実施してまいりました。

実施にあたっては、「福祉・健康」「教育・子育て」「安心・安全」「環境保全」「絆・活性化・文化」の5つの部会を設け、それぞれの部会が計画の目指すまちづくりを行う上でより効果的な事業について、工夫しながら実施に努めているところです。

とりわけ、2020年度からのコロナ禍において、多くの事業が自粛や中止となり、人と人の交流が薄れつつある中、計画の目標とする「笑顔があふれるまち新涯」のまちづくりに少しでも近づくことを目標に鋭意取り組んできたところです。

こうした中、2022年度(令和4年度)においても残念ながら中止した事業もありますが、様々な対策を講じながら実施した主要な事業について、部会ごとに取りまとめて皆様方にご報告しご理解をお願いするものです。

2023年(令和5年)3月
新涯学区まちづくり推進委員会
委員長 倉田 秀孝

《総合防災訓練》

福山市、内閣府、自衛隊、消防署などと連携し「総合防災訓練」を行いました。

実際の災害では多くの避難者が想定されるため、新涯小学校と誠之中学校に避難する現実を見据えた訓練でした。多くの関心をいただき避難者628人、避難行動要支援者の安否確認ができた人数は144人でした。避難訓練後には、新涯小学校グラウンドにおいて、土のう積み訓練、消火器訓練、自衛隊車両の展示、消防支援車、防災用品の展示、防災用品ワークショップなど多くの訓練を行いました。災害は予告なしに突然発生します。その時に落ちついて自分の判断で速やかな避難行動ができるよう日頃から心がけておく必要があります。今以上に防災に関心を持ちましょう。



夏休みラジオ体操

福祉・健康部会



夏休みに入り、今年もラジオ体操を行いました！大人も子どももたくさん参加していただきました。コロナ禍ではありましたが、予定していた日程どおりすべて行うことができ、最終日には高学年の子どもたちが低学年の子どもたちの前にお手本になったことがとても印象に残りました。

認知症サポーター養成講座

福祉・健康部会

住民からの要望で企画した「認知症サポーター養成講座」を開催しました！

多くのお申込みをいただき、認知症への関心度が高いことがわかりました。お話の中にあった、「3つの幸せ」がとても印象的でしたのでご紹介します。

一つ目の幸せは、「してもらう幸せ」

二つ目は、「自分でできる幸せ」

三つめは、「人にしてあげる幸せ」

です。人にしてあげる幸せは三つの中でも最高の幸せといわれているそうです。これからも元気でいるためにフレイル予防講座やボランティア活動にぜひ参加してみてください。



普通救命講習

安心・安全部会

突然AED(自動体外式除細動器)が必要になった時、みなさんはAEDを使うことができますか？今回行った普通救命講習では、応急手当の重要性、呼吸や脈拍が止まった際の「心肺蘇生法」や「AED(自動体外式除細動器)」の使用方法などを学習しました。胸骨圧迫、AEDの使い方などみなさん真剣に学習しました。

急に「AEDを持ってきて！」と言われると、焦ってしまいどこに設置してあるか分からなくなることもあるので普段から設置場所などを事前に確認しておく必要もあります。



シニアのための交通安全講座

安心・安全部会

JA共済のご協力を得て、きずな号に搭載のドライビングシミュレーターで参加者全員が自動車安全運転診断を行いました。診断後はA～Eまでの順で危険度が書いてある診断書を見て自分の運転を見直す良いきっかけとなったことと思います。また、福山東警察署交通第1課の方から交通安全についての講義もあり、反射材・反射板の着用や明るい服の着用の有効性、4月から施行の自転車保険のお話など大変勉強になりました。



「まき割り体験!火おこし体験!」講座の開催

教育・子育て部会

講師は、昨年度と同じ、日頃から里山の保護活動やボランティア活動をしている薪割りtaiの皆さん(代表:教育・子育て部会員の北村実さん)。小学生46人、保護者34人合計80人でグループに分かれ、まき割りと火おこしを体験しました。

鉈(なた)を使い薪を割るのは大人でも初めての方が多く、正しい使い方を学び、グループごとに力を合わせて、安全に薪を割っていきました。

また、ファイヤースターターを使って点火に挑戦しました。みんなで作ったフェザースティックに着火させた後、少しの風でも消えそうになる火を試行錯誤して大きくし、その火が、無事に燃え上がった時には、ワッと大きな歓声が上がりました。冬の寒さに負けない大変温もりのある講座となりました。



「～ひとりひとりを大切に～発達障がいについて考えよう 地域の中で私たちに出来ること」講演会の開催

教育・子育て部会



福山市社会福祉協議会安全生活見まもりセンター 基幹相談支援センタークローバー 主任相談支援専門員の永井智樹先生に、発達障がいについて、そして地域で出来ることについての講演をしていただき、40人の参加がありました。

人と合わせることが苦手な発達障がいの方にとって、一方がただひたすら受け入れるというのではなく、互いに違いを認め合うことが、理解に繋がるということを学びました。ひとりひとり違っていい、誰もが自分らしく生きていくことができる新涯学区をめざしていきましょう。